

平成 30 年度 地域力向上事業

「ジュニアジオガイド講座②～火山がもたらした恵みと人々の暮らしとの関係を探ろう！～」 事業報告書

企画指導専門職 尾家 義隆

1 事業の概要

- (1) 趣 旨 阿蘇ジオパークを地域教材として活用することで、郷土と自然を愛する態度の育成を図るとともに、問題解決学習を通して科学的思考力と課題解決能力、自ら学ぶ意欲を育成する。さらに、阿蘇ジオパークの情報を発信することで幅広い知識と表現力を育成する。また、ジオパークに関する仕事をしている人々の思いや願いを聞く場を設定することで、自らの将来について考える機会を作る。
- (2) 期 日 平成 30 年 9 月 22 日（土）～24 日（月） 【2泊3日】
- (3) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家及び阿蘇ジオサイト
- (4) 参加者 28 名
- (5) 担当職員 尾家 義隆（企画指導専門職） 山下 正晃（企画指導専門職）
野尻 明美（事業支援室専門職員） 内村 千春（事業推進係主任）
- (6) 講 師 児玉 史郎 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 会長）
花岡 利和 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
山本 セツ 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
大西 佳代 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
川原 哲夫 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
花岡 玲子 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 ジオガイド）
- (7) 内 容 【1日目】大観峰カルデラジオサイト探検（大観峰）、火山の神ジオサイト（阿蘇神社）、ジオに関する仕事をしている方の講話、大観峰ガイド原稿作成
【2日目】南阿蘇ビジターセンター・阿蘇野草園、南阿蘇湧水群ジオサイト（高森湧水トンネル・白川水源・池の川水源）、つかめる水づくり
【3日目】阿蘇黄土ジオサイト（株式会社日本リモナイト）、発表会、修了式

2 成果と課題

(1) 成 果

- 「高森湧水トンネルを作るときに 1 度水が止まってしまって水不足になったという話を聞いて、水は人々にとってとても大切なものだと知りました。」や「人々との生活とのかかわりが分かり楽しかった。」という参加者の感想から今回のテーマに即した学習ができたことがわかる。
- 「みんなと協力して楽しく活動できてよかったです。」や「友達と言いつ争いになったりもしたけど、前より楽しくなっていたので良かったです。」「友達ができた。」といった仲間づくりに関する参加者の感想が多かった。第 1 回と同じ活動班編成にしたことで児童間の交流が深まったことがわかる。3 日間を通しての参加者の満足度（4 段階中 4）は 90%。
- 第 1 回に引き続き、今回は 27 名の児童が継続して参加した。また、事後アンケートでは 90%の参加者が「次回のジュニアジオガイド講座③に参加したい。」という回答をした。閉会式後の第 3 回の先行受付では、参加者 28 名の内 23 名が受付を済ませた。
- 児玉史郎氏（阿蘇ジオパークガイド協会会長）にガイド原稿作りの指導を依頼した。その成果もあり、参加者全員が自分の言葉で大観峰ガイド原稿を書き上げることができた。
- 8 月 6 日（月）に行われた「ユネスコ世界ジオパーク再認定審査」において本事業の様子が紹介され、阿蘇ジオパークの教育的価値を審査員に印象付けることができた。

(2) 課 題

- 次回は第 2 回までのスタッフとメンバーが入れ替わるため、参加者の送り事項の引継ぎと班付きスタッフの役割の共通理解を図る必要がある。

3 事業の様子



大観峰での探検の様子



阿蘇神社での探検の様子



児玉会長の講話の様子



南阿蘇ビジターセンターでの探検の様子



白川水源での探検の様子



つかめる水づくりの様子



阿蘇黄土ジオサイトでの探検の様子



発表会の様子